

日本一の門前町大縁日 門前フリンジ 実施報告書

団体名	
事業名	

事業内容

実施状況

(写真添付1)

(写真説明1)

(写真添付2)

(写真説明2)

事業の成果

(写真添付3)

(写真説明3)

今後の取り組み

(写真添付4)

(写真説明4)

団体名	伝統芸能こどもフェスティバル実行委員会
事業名	伝統芸能こどもフェスティバル

事業内容

後継者不足に悩む中、伝統芸能をイベントとして開催することで、子どもたちの参加を促進し、伝統芸能の継承を進める。

- 日時：令和2年10月24日、25日
- 会場：長野市芸術館
- 内容：こどもたちによる伝統芸能のステージ発表
こどもたちへの伝統芸能の体験・指導
合同ステージ発表と事前練習
- 実行委員会、全体会議：1/21、6/9、8/27、11/18
- 目的・ねらい
 - ・次世代への伝統芸能の継承
 - ・ジャンルを超えた団体交流
 - ・地域の活性化

実施状況



事前練習



合同ステージ発表

事業の成果

- 出演団体18団体372名
うち合同ステージ発表51名（伝統芸能初体験）
- 来場者1,300名
- 出演者アンケート
総合的に満足、やや満足 90.9%
- 主な意見
 - ・伝統芸能を継承することの重要性を感じた
 - ・フェスティバル継続のため参加・協力する
 - ・子どもたちと触れ合うことを幸せに感じる
 - ・他市邦楽関係者がモデルにしたいと言っていた



体験ブース（剣舞）

今後の取り組み

2回目であったが、51名のこどもたちが伝統芸能に初めて参加し、所期の目的を達した。

一方、参加団体からのアイデアを全て受け入れたため、参加者自身が非常に多忙なプログラムとなった。今回参加した団体を中心に実行委員会として継続した実施を目指す。



体験ブース（三味線）